

●都市拠点

①中心商業拠点 ■■■■

- 商業・業務・サービス機能が集積したＪＲ緒川駅周辺のエリアを「まちの顔」とし、町の発展をけん引する中心商業拠点に位置づけます。

②地域商業拠点 ■■■■

- ＪＲの各駅を中心として、周辺地域住民のための生活機能の集約した利便性の高い生活環境を形成するゾーンとして位置づけます。

③広域交流拠点 ■■■■

- 東浦知多ＩＣ周辺については、自動車交通の玄関として、広域交流拠点に位置づけ、工業地や物流施設の立地を促進します。

④産業活性化拠点 ■■■■

- 森岡地域の工業地、緒川・石浜地域の工業地及び藤江地域の工業地を産業活性化拠点として位置づけ、既存産業の操業環境の向上・維持や、新規企業の積極的な誘致を図ります。

⑤レクリエーション拠点 ■■■■

- あいち健康の森、於大公園をレクリエーション拠点と位置づけ、周囲との連携を図っていき、回遊性を持たせられるような施策展開を検討します。

⑥新産業拠点 ■■■■

- 北部のあいち健康の森周辺を新産業拠点として位置づけ、ウェルネスバレー構想を実現するため、健康、医療、福祉、介護関連の企業誘致を促進します。

●都市軸

①広域幹線軸 ■■■■

- 知多半島道路を広域幹線軸として位置づけ、広域交流や物流のさらなる活性化を推進する重要な要素の活用を図ります。

②産業交通軸 ■■■■

- 周辺市町との連携を担い大量の交通を円滑に処理し、広域交流拠点の東浦知多ＩＣ、中心商業拠点のＪＲ緒川駅、産業活性化拠点の森岡地域及び藤江地域の工業地、新産業拠点のあいち健康の森周辺へ連絡する重要な役割を担う路線を位置づけます。

③地域連携軸 ■■■■

- 広域交流拠点、中心商業拠点、新産業拠点及びレクリエーション拠点などへ、各地域から連絡する道路を地域連絡軸と位置づけます。

④構想路線 ■■■■

- 本町と三河を連絡する道路として位置づけます。

●ゾーニング

①住宅ゾーン ■■■■

- 既成市街地及び新市街地については、周辺環境と調和する住民の生活のためのゾーンと位置づけ、潤いとゆとりある生活空間、安全で安心できる生活環境の形成をめざし、その維持・保全や改善を図ります。

②商業ゾーン ■■■■

- 鉄道駅前を中心に、商業機能の集積を図り、地域住民の生活の利便性の向上を図るゾーンと位置づけます。

③工業ゾーン ■■■■

- 森岡地域及び藤江地域の工業地、緒川上舟木周辺の工業地から東浦知多ＩＣにかけての区域、ＪＲ緒川駅東側の工業地を工業ゾーンとして位置づけ、操業環境の維持・向上や周辺環境と調和した工業地の立地・整備を検討します。

④新産業ゾーン ■■■■

- あいち健康の森周辺を新産業ゾーンとして位置づけ、ウェルネスバレー構想を実現するため、健康長寿関連産業の研究所・工場などの誘致を促進します。

⑤農地・樹林・集落ゾーン

- 農村集落と農地が一体となった良好な農業空間や樹林地を含む区域を農地・集落ゾーンとして位置づけ、観光型農園としての活用や営農環境の保全を図ります。

⑥公園・緑地ゾーン

- レクリエーション拠点や住民の憩い、環境学習の場、災害時の避難場所などとしての活用を図る区域を公園・緑地ゾーンとして位置づけます。

将来都市構造図

